



学校だより

7月号
横浜市立桜台小学校
2019年6月29日発行

学校・家庭・地域の連携

副校長 高浜 正太郎

梅雨に入り、曇り空や雨の降り続く天候が続いています。学校周辺に咲いているアジサイの花も日に日に色濃くなっています。また、学年ごとに育てている植物もぐんぐん生長しています。じめじめとした梅雨らしい天気ではありますが、改めて植物にとっては大切な季節であることを感じさせられます。時折見られる夏の強い日差しの日には水泳学習が行われ、子どもたちはそれぞれにめあてをもち、楽しそうにプールで学習しています。

6月1日(土)天候に恵まれ、初夏のさわやかな気候の中、運動会を実施することができました。「赤白共に勝利に向かって 気持ちを一つに つき進め」をスローガンとして、子どもたちは運動会を成功させるために一人ひとりがめあてをもち、力を合わせて練習に取り組んできました。当日は、まさにスローガンの通り、学年やたてわり班ごとにみんなが心をひとつにして演技や競技に取り組む姿をたくさん見ることができました。

閉会式での結果発表では、赤組が優勝しました。しかし、赤組白組どちらの児童も、疲れた表情は見せずに笑顔で閉会式に臨んでいました。きっと、この日のために練習してきたことを十分に発揮できた充実感が子どもたちの気持ちを最後まで高めてくれたからではないかと思いました。最後まであきらめずに努力することや、友だちと協力し合っ高め合うことなど、運動会を通して子どもたちがそれぞれに身につけた力を、今後の学習活動に活かしてくれることを願っています。

お忙しい中ご来場くださり、ご声援をいただいた地域の皆様、前日準備から当日の運営、終了後の片付けに至るまでご尽力いただいたPTA役員及び委員、メンズクラブの皆様、どうもありがとうございました。

また、6月10日(月)には、登下校時に児童の安全を見守っていただいている学援隊の皆様をお招きして、朝会の時間に全校児童に紹介し、お礼の言葉を述べました。その後、教職員と保護者の方々と交えて、児童の登下校の様子や交通安全について懇話会を行いました。

その中で、現在の学援隊に至るまでの経緯や、交通事故の未然防止だけではなく防犯としての役割も担われていること、警察やPTAと連携した活動の必要性など、多くのご意見をいただくことができ、実のある懇話会となりました。日頃、お世話になっている学援隊の皆様には、心より感謝申し上げます。

さらに、懇話会の中から話題となったことでは、子どもたちが自分から進んで元気よく挨拶してほしいというお話がありました。日頃お世話になっている地域の皆様に対して、感謝の気持ちを表す一番の方法は元気よく挨拶することだと考えています。中には恥ずかしさから進んで挨拶することが苦手な子もいるのではないかと思います。皆様のお声かけや学校での取り組みによって、挨拶を交わすことが習慣づいてくれたらと願っています。

このように6月の行事を振り返ってみますと、地域や保護者の皆様に多くのご支援をいただきながら本校の教育活動が円滑に進み、子どもたちの成長につながっていることを実感いたしました。これからも子どもたちが生き生きと活動しながら成長できるように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

7月に入ると、夏休みに向けて学習や生活のまとめを行う時期となります。各ご家庭や地域の中で子どもたちが有意義な夏休みを過ごすことができるよう引き続きご協力をお願いいたします。

